

オペラ

泣いた赤おに Tokyo Bunka Kaikan Opera BOX "Naita Aka Oni - The Red Ogre in Tears"

同時開催

オペラをつくろう！

合唱や合奏、工作で本公演に参加する
子供向けワークショップを開催！
詳しくはホームページ等でご案内します。

2019年

9月22日(日)・23日(月・祝)

15:00 開演 (14:30開場)

Sun, Sept 22, 2019 15:00 (Open 14:30)

Mon (NH), Sept 23, 2019 15:00 (Open 14:30)

東京文化会館 小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

台本・作曲・指揮：松井和彦

Libretto, Music, Conductor: Kazuhiko Matsui

演出：久恒秀典

Production: Hidenori Hisatsune

【スタッフ】

美術：黒沢みち(東宝舞台)

Stage design: Michi Kurosawa (Toho Stage Craft)

照明：稲葉直人(アート・ステージライティング・グループ)

Lighting design: Naoto Inaba (Art Stage Lighting Group)

衣裳：増田恵美(モマワークショップ)

Costume design: Emi Masuda (Moma Workshop)



赤おに
宮里直樹(テノール)
※第10回声楽部門
第2位[最高位]及び聴衆賞
Red Ogre:
Naoki Miyasato (Ten)



青おに
岡 昭宏(バリトン)
※第12回声楽部門
第1位及び聴衆賞
Blue Ogre:
Akihiro Oka (Br)



木こり
龍 進一郎(バリトン)
※第5回声楽部門入選
Woodcutter:
Shin-ichiro Ryu (Br)



その娘
盛田麻央(ソプラノ)
※第12回声楽部門第2位
Daughter of woodcutter:
Mao Morita (Sop)



百姓
黄木 透(テノール)
Peasant:
Toru Oki (Ten)



その女房
八木寿子(メゾソプラノ)
※第9回声楽部門第1位
Peasant wife:
Hisako Yagi (Mez)



ナレーター
高橋薫子(ソプラノ)
Narrator:
Nobuko Takahashi (Sop)



ナビゲーター(ブトーク)
朝岡 聡
MC (Pre-talk):
Satoshi Asaka

児童合唱&合奏：コロスわらんべ(ワークショップ参加児童)

Children's Choir & Instrumental Ensemble: Coros Waranbe

ピアノ：服部容子

Piano: Yoko Hattori

ヴァイオリン：岸本萌乃加 ※第9回弦楽部門第1位

Violin: Honoka Kishimoto

クラリネット：草野裕輝

Clarinet: Yuki Kusano

打楽器：沓名大地・麻生弥絵・彌永和沙

Percussion: Daichi Kutsuna, Yae Aso, Kazusa Iyonaga

※東京音楽コンクール入賞者・入選者

全席指定

3,240円(税込)

Reserved Seats 3,240yen

Tokyo Bunka Kaikan Subscribers, Senior(65 or over), Persons with disabilities,

Under-26s 2,700yen

*All the discount tickets are only available at Tokyo Bunka Kaikan Box Office. Valid ID required.

東京文化会館友の会会員・

シルバー(65歳以上)・25歳以下・

ハンディキャップ ※要証明書

2,700円(税込)

一般発売 ▶ 5月18日(土)

On sale date: Sat, May 18, 2019

東京文化会館友の会会員先行発売 ▶ 5月11日(土)

Advanced sale for Tokyo Bunka Kaikan Subscribers: Sat, May 11, 2019

チケットのお申込み Tickets

■東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 www.t-bunka.jp
Tokyo Bunka Kaikan Box Office

■ローソンチケット 0570-000-407 l-tike.com

■イープラス eplus.jp/t-bunka/

主催：上野中央通り商店会/東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

協力：株式会社ヤマミュージックジャパン

東京文化会館ザ・イヤーパートナー：上野精養軒

助成：



文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

企画制作・お問合せ：東京文化会館 事業係 03-3828-2111(代表)

www.t-bunka.jp

@tbunka_official

※各種割引は東京文化会館チケットサービスのみの取扱いです。
※都合により出演者等、変更の可能性がございますのでご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※託児サービス(要予約・有料・9月13日(金)17時締切)があります。

イベント託児・マザーズ：0120-788-222

*The program is subject to change under certain circumstances.

*Pre-school children are not allowed to attend this performance.

*Child care service is available (reservation and fee required).

Event Child Care Service: Mothers 0120-788-222

Reservation must be made by 17:00 on Friday, Sept 13.

文化でつながる。未来をつなげる。

THE FUTURE IS ART

TokyoTokyo
FESTIVAL

オペラ 泣いた赤おに

4年ぶりに再演決定！児童文学の傑作「泣いた赤おに」を歌にのせて

2004年にスタートした東京文化会館「オペラBOX」は、オペラの名作を気軽に楽しめる人気企画です。今年は2015年に大好評を博した浜田廣介原作の児童文学の代表作「泣いた赤おに」を題材とした日本オペラを4年ぶりに再演いたします。赤おに、青おに役には、ともに東京音楽コンクールで入賞し、活躍めざましい若手ソリスト宮里直樹と岡昭宏。オペラを歌とお話で進行するナレーターには、日本を代表するソプラノのひとり高橋薫子。その他、個性の光るソリスト陣が舞台を盛り立てます。さらには、連携企画「オペラをつくろう！」の参加者が、舞台美術の製作や児童合奏・合唱で参加。プロと子供たちが一緒になって作り出す東京文化会館版の「泣いた赤おに」にご期待ください。

オペラ「泣いた赤おに」あらすじ

とある山の中に、ひとりの赤おにが住んでいた。赤おには「人間と仲良くなりたい」とずっと願っていたが、鬼を怖がる人間は誰も彼の家には寄りつかなかった。ひとり悲しみに暮れている赤おにの話聞いた友達の青おにには、自分が悪役を買って出て、赤おにが人間たちに好かれる策を思いつく。作戦は大成功し、赤おにには人間の友達と楽しく、充実した日々を送っていた。だが、赤おにには一つ気になることがあった。それは、親友である青おにがあれから一度も遊びに来ないこと。いてもたってもいられなくなって、青おにの家を訪ねると、そこにはもう青おにの姿はなかった。

Synopsis

"The Red Ogre in Tears" is a popular Japanese folktale. Once upon a time, there was Red Ogre who lived on a mountain. The Red Ogre had longed for becoming friends with humans, but humans were always afraid of ogres and never visited his house. The lone Red Ogre was deeply saddened. One day, the Blue Ogre, a friend of the Red Ogre, heard the Red Ogre's wish and came up with one idea. The Blue Ogre pretended to be evil to humans, which, as a result, humans became to like the friendly Red Ogre. The plan was successful, and the Red Ogre ended up spending a happy life with his human friends. The Red Ogre, however, became worried that the Blue Ogre had never visited him since then. He couldn't wait any longer and went to the Blue Ogre's house one day, but he wasn't there anymore.

台本・作曲・指揮 Libretto, Music, Conductor
松井和彦 Kazuhiko Matsui



1951年吉祥寺生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業後、二期会専属となる。文化庁芸術家在外研修員としてバイエルン国立歌劇場で故W.サヴァリッシュ氏のもとでオペラ作法を学ぶ。オペラ「泣いた赤おに」では「これが処女作とは信じられない見事な手腕」と評され、ジローオペラ新人賞を受賞。ほかに、インソップオペラ三部作「北風と太陽」、「金の斧・銀の斧」、「羊飼いと狼」や「笠地蔵」、「花咲か爺さん」等を作曲し、全国各地で頻繁に上演されている。近年は、古典落語の室内オペラ化に挑戦し、「目黒のさんま」、「宿屋の仇討ち」、「井戸の茶碗」が上演されている。「泣いた赤おに」は、今秋、ソフィア国立歌劇場（ブルガリア）により、ヨーロッパ初演の予定。

演出 Production
久恒秀典 Hidenori Hisatsune



国際基督教大学教養学部卒業、東宝演劇部専属契約の後、1994年イタリア政府奨学生としてボローニャ大学、ヴェネツィア大学、マルチェッロ音楽院、ヴェネツィア州立ゴールドーニ座演劇学校に学ぶ。2004年文化庁芸術家在外研修員としてイタリア各地の劇場にて研鑽を積む。主な演出作品として、「偽のアレッキーノ」〈絨毯座 佐治敬三賞受賞〉、「夕鶴」〈夕鶴実行委員会〉、「リゴレット」〈泣いた赤おに〉〈東京文化会館〉、「イル・カンピエロ」〈フィガロの結婚〉〈東京藝術大学大学院〉、「こうもり」〈帯広市民オペラ〉「結婚手形・なりゆき泥棒」〈ドン・ジョヴァンニ〉〈新国立劇場オペラ研修所〉がある。新国立劇場オペラ研修所・東京藝術大学・尚美学園大学・東京音楽大学・日本オペラ振興会育成部講師、桐朋学園大学招聘演出家、東京文化会館ミュージック・エデュケーション・プログラム・ワークショップ・リーダー育成プログラム指導者を務める。

舞台監督：田中義浩（ザ・スタッフ）
Stage director: Yoshihiro Tanaka (The Stuff)

児童合唱指導：田中美佳
Children's chorus instructor: Mika Tanaka

児童合奏指導：諸遊耕史
Children's instrumental ensemble instructor: Koji Moroyu

演出助手・振付：伊奈山明子
Assistant director, choreographer: Akiko Inayama

英語字幕：本谷麻子
Surtitles: Asako Honya

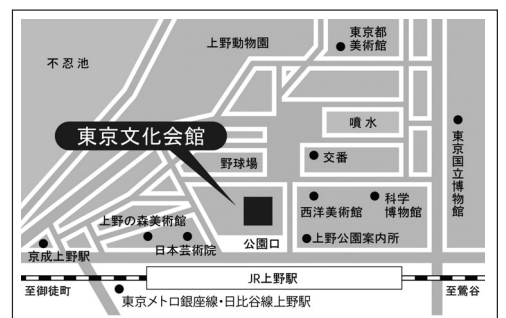
衣裳スタッフ：モマワークショップ
Costumes: Moma Workshop

ヘア&メイク：丸善
Hair & Makeup: Maruzen

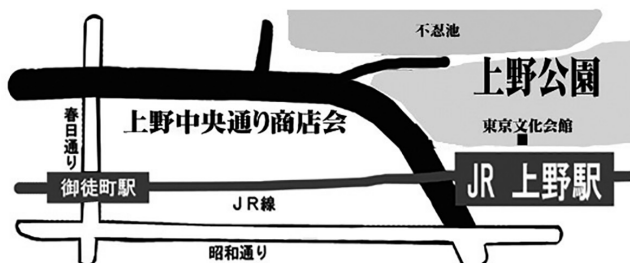
照明操作：アート・ステージライティング・グループ
Lighting: Art Stage Lighting Group

東京文化会館

- JR上野駅公園口より徒歩1分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩5分
- 京成電鉄京成上野駅より徒歩7分



上野の山のお帰りは 上野中央通りで楽しいお食事とお買物



上野中央通り商店会

110-0005 台東区上野 2-1-3 8 8ビル9階
TEL03-3833-0030 FAX03-3833-3053
<http://www.tokyo-ueno.jp>